

3.10.4 研究推進部門 標準化推進グループ

グループリーダー 伊藤秀俊 ほか6名

国際標準化活動の推進

概要

NICTの研究成果が実社会において広く活用されるよう、研究成果の社会還元の一環として、国際標準化活動の強化、推進を行っている。具体的には、国際標準の獲得を念頭においた研究開発を推進するとともに、国際電気通信連合（ITU）をはじめとする国際標準化機関や各種フォーラム活動等へ参画することにより国際標準化活動に寄与している。また、中立的な立場から標準化提案の取りまとめを行い、我が国の国際標準の獲得を推進している。

標準化推進グループでは、これらの取組を推進するため、以下の業務を行う。

- (1) NICTの標準化活動の現状や動向の把握
- (2) 標準化活動に関する調査の実施
- (3) 標準化活動に関する人材育成施策の実施
- (4) 重要技術分野におけるフォーラム活動等の支援

平成20年度の成果

- (1) NICTの標準化活動の現状と動向を把握した。NICT全体で平成20年度中に各種国際標準化機関に提出した寄与文書は、226件であった。
- (2) 国際標準化に関する重点技術分野である「NGN/IPTV技術」「次世代移動体通信システム技術」「ICT環境技術」「次世代映像・音響技術」について標準化活動の動向調査を行った。
- (3) 国際標準化活動若手交流会を平成20年10月、12月、平成21年3月の3回開催した。NICT及び他の組織の若手研究者を集め、標準化経験者による講演、参加者によるグループディスカッションを行い、国際標準化活動に関する理解を深めるとともに、参加者相互の交流を図った。
- (4) ITU、IEEE、IETF等の国際標準化機関の手引書を作成した。
- (5) 280者を越える産学官の構成員からなる「次世代IPネットワーク推進フォーラム」の事務局を務めるほか、総務省情報通信審議会研究開発・標準化戦略委員会における審議に参加し、次世代IPネットワークの研究開発・標準化の推進や我が国の国際競争力強化のための標準化推進方策の策定に寄与した。
- (6) 日本で開催された国際標準化会合（ASTAP総会、ITU-T FG-ICT&CC会合）に対する支援を行った。

